

# エクspanディット™

EXP-IM200~600

非開削で既設老朽管を  
新管に入れ替えます!



## 管入替工法とは

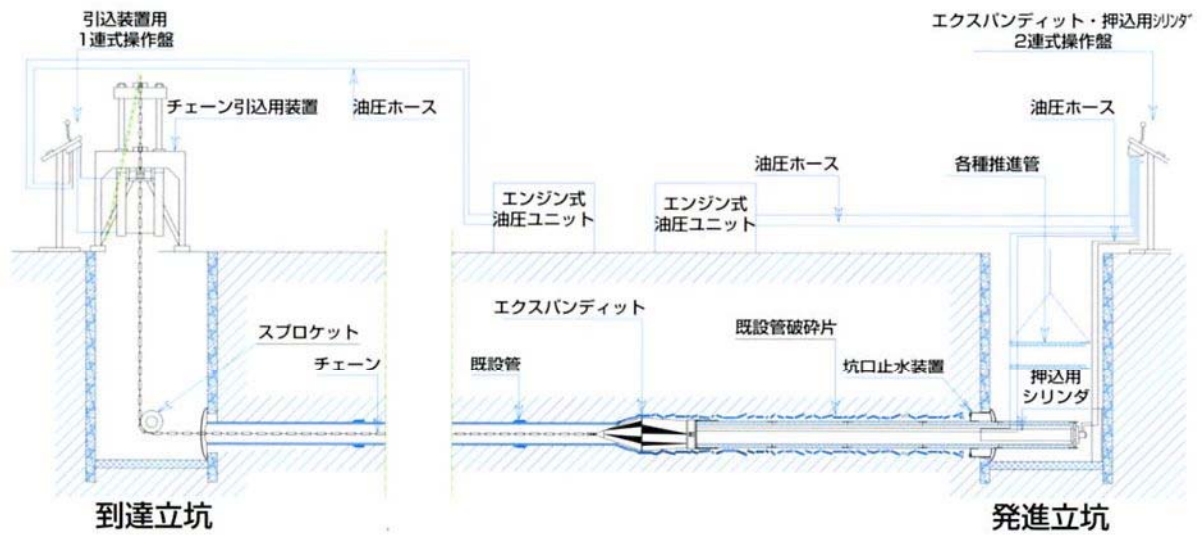
経年老朽化した既設管路を非開削で新管に入れ替える工法です。一般的に老朽既設管を破碎するには既設管路内にヘッダー（破碎機）を挿入し、老朽管を破碎しつつ拡径を行います。ヘッダーは発進立坑より挿入し、牽引もしくは押込（推進）又は牽引・押込操作を同時に行い新管を順次発進立坑より挿入します。

到達立坑まで管敷設を行い、ヘッダーは到達立坑で回収します。

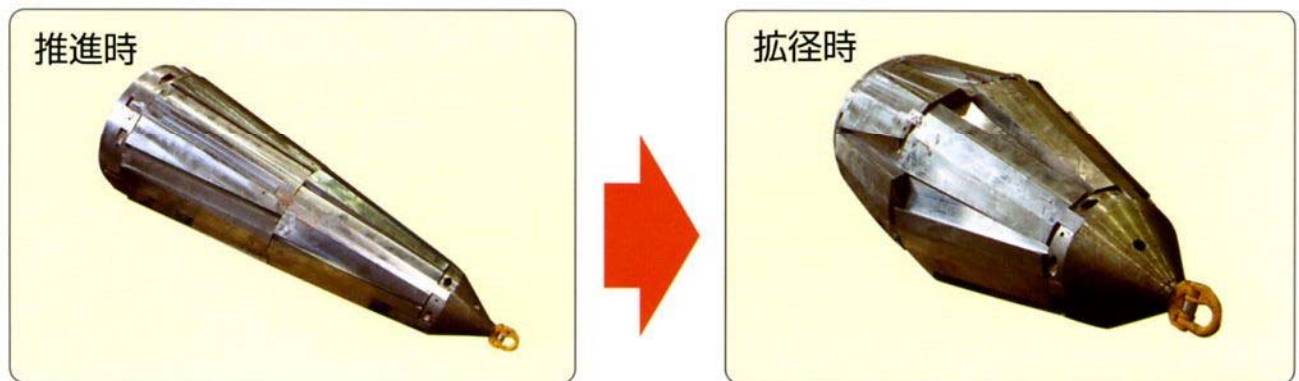
## エクspanディットの特長

エクspanディットとは、老朽既設管を破碎するヘッダー（破碎機）です。

1. 適用管径は、呼び径200~600mmです。
2. 入れ替えできる新管は、推進管で以下のとおりです。  
セラミック管、ヒューム管、鋼管、ポリエチレン管、ダクトイル管等
3. 適用管径により異なりますが、コンパクトな破碎機のため立坑（φ1500mm）からの発進、到達が可能です。
4. ライニング工法とは異なり、有効径を損なわない新管敷設のため、流量断面の損失がありません。
5. 条件によりワンサイズアップの増径も可能です。
6. 非開削で安全に施工可能で、更新（入替）速度が速く工期の短縮がはかれます。



### ◆ エクスパンディット可動状況



### エキスパンディット使用時の作業手順

1. エクスパンディットを更新する老朽既設管内に牽引装置で引き込みます。
2. エクスパンディットを操作し油圧により、既設管中心で拡径させ老朽既設管を破砕します。
3. エクスパンディットを元の形状に操作し、拡径した土の中に入れ替える新管を押し込みます。
4. 同時に到達側に設置された牽引装置に取り付けられたチェーンでエキスパンディットの先端を牽引します。

注) このカタログに記載の仕様は予告なしに変更することがあります。

2004



株式会社 イセキ開発工機